

ショッピングカートからの転落に注意しましょう！

年末年始は、ご家族連れでの買い物が増える時期です。買い物中に、子どもをショッピングカートに乗せる機会も増えますが、転落時は頭部損傷のリスクが高く、危険であることを意識しましょう。

* 3歳児が、コンクリートの床面へ転落した場合の高さが約73センチより高いと、頭部損傷のリスクが非常に高くなるという分析結果が出ています。ショッピングカートの“カゴ”の上部までの高さは70～80センチ前後もあるため、転落すると大変危険です。消費者庁には、子どもの転落事故による外傷や頭蓋骨骨折、頭蓋内損傷の医療報告が寄せられています。

①店舗用ショッピングカートとは

ショッピングカートには商品だけを乗せるもののほか、乳幼児席のあるものがあります。子供を乗せる場合は、製品安全協会のSG基準に適合した“SGマーク”のあるショッピングカートを選びましょう。座席に表示されている“対象月齢”を守り、座席の無いショッピングカートに子どもを乗せるのは、危険ですから止めましょう。

②事故が多い年齢と事故の内容・程度

1歳児の事故が最も多く、次いで2歳児となっています。1歳児から3歳児までの事故が、70%を占めています。

「転落」が60%と最も多く、立ち上がろうとしたり、商品を取ろうと身を乗り出した時に事故が発生しています。また、「転倒」では、“カゴ”に乗っていてカートごと転倒した、カートによじ登ろうとして転倒した等、座席以外の部分で子供が動いたために転倒しています。その他、子どもがカートを押して発生した、転倒事故もあります。

6歳以下の子どもの事故を危害部位別にみると、頭部が最も多く、次いで顔面・鼻や口への外傷で、頭部から顔にかけての頭全体が、80%を占めています。傷の程度は、擦過傷・挫傷・打撲がほとんどですが、中には骨折や頭蓋内損傷で、入院手術が必要になることもあります。特に、乳幼児は、まだ頭部が柔らかく損傷を受けやすいことから、重大な事故につながる可能性があるといえます。

③ひとことアドバイス

- ・SGマークを確認して、子どもの体に合った座席を選びましょう。座席以外には乗せないで下さい。
- ・子供が立ち上がった時、身を乗り出さないように注意し、ベルトがあれば、しっかり締めましょう。
- ・子供が“カゴ”や“ハンドル”にぶらさがって遊ばないように、注意しましょう。
- ・買い物中でも、子どもから目を離さないで！！

☆ ご予約・お問い合わせ ☆

いなみ虹保育園・病後児保育室「レインボー」

住所：兵庫県加古郡稲美町国安1256番地

TEL: 079-490-2064 (専用電話)

FAX: 079-490-6682

* 詳しくは「いなみ虹保育園HP」「稲美町HP」をご覧ください。

編集：浅原

参照：消費者庁HP、国民生活センターHP